

令和6年度第2回認知症施策推進会議及びパブリックコメントにおける意見への対応について

(1) 令和6年度第2回認知症施策推進会議における主な意見等への対応

	委員からの意見等	意見に対する考え方
1	<ul style="list-style-type: none"> 若者への理解を広げるため、富山大学の学生を対象に認知症サポーター養成講座を実施している。 他県では大学生がキャラバン・メイトになり、認知症サポーター養成を行っている。本校でも検討していきたい。 	<p>計画（案）に、認知症サポーターの養成にあたっての関係者と連携した学生向けの取組みを追加 【計画（案）P13】</p>
2	認知症希望大使の活動に当たっては、長時間に及ばない配慮や匿名希望への対応を慎重に行っていく必要がある。	（計画（案）ではなく、具体的な取組みに関するご意見⇒ご意見を踏まえて大使の活動を実施する）
3	国で進めている高齢者等終身サポート事業について、民間事業者による日常生活支援などの対応は有効であり、期待している。	（計画（案）ではなく、具体的な取組みに関するご意見⇒ご意見を踏まえて、利用者が安心して事業を利用できるよう国が策定した事業者ガイドラインの内容も含めて高齢者等終身サポート事業の周知に取り組む）
4	認知症の方を支えるにあたり、不穏等で一時的に安定を図りたい場合、措置入所や緊急短期入所が適応できず、対応に苦慮することがある。県単位、医療圏単位で対応を検討してほしい。	<p>他の地域でも同様に対応に苦慮している状況があることから、認知症の方の不穏等、行動・心理症状（BPSD）の重症化を防ぐ取組みを進めることとし、計画（案）に認知症疾患医療センター等と連携した BPSD の重症化予防等に関する取組みとして、認知症の鑑別診断など専門医療の提供やかかりつけ医との連携、専門相談等を追加 【計画（案）P19・22】</p>
5	県の計画は国の基本計画に沿って目標を立てているが、国の計画にはもう少し指標がある。国の計画なども参考に、指標を充実させてほしい。	<p>計画（案）に、国の基本計画における指標などを参考に新たな指標を追加 【計画（案）P27】</p>
6	社会は急に変わらないため、モニタリングを継続していくことが大事である。	（計画（案）ではなく、計画の進捗管理に関するご意見⇒指標による計画の進捗管理でモニタリングを継続していく）
7	「新しい認知症観」を医療従事者から理解する必要がある。身体抑制など入院中の出来事は退院後の人生を大きく変えてしまう。早期発見・早期対応とともに ACP の浸透が大事である。	<p>訪問系介護サービス提供者はチームを組んで ACP に取り組む必要があるが、まずは、日頃から本人の思いに耳を傾け、寄り添う立場であり、各サービス提供者と連絡を行うケアマネジャーが関わって ACP を促進することとし、計画（案）に、ケアマネジャーが関わる ACP の促進の取組みを追加 【計画（案）P20】</p>

	委員からの意見等	意見に対する考え方
8	計画(案)で普及を図るとしている「認知症バリアフリー社会実現のための手引き」では、民間事業者は家族や地域包括支援センターと連携して対応とあるが、どこまで情報を提供してよいかが一番の問題である。もう一步踏み込んだガイドラインかマニュアルを整えてもらえるとよい。	計画(案)に、官民連携による認知症にやさしい地域づくりの推進の一環として、官民の対話を通じた民間事業者の困りごとの解決を目指す取組みを追加 【計画(案) P14】
9	計画(案)の「認知症高齢者支援体制」の図に「地域の民間事業者」も加えていただきたい。	計画(案)の「認知症高齢者支援体制」の図に「地域の民間事業者」を追加 【計画(案) P21】
10	県の施策について、認知症の人に直接関わる医療・介護関係者が分かるように職能団体に働きかけてほしい。	(計画(案)ではなく、その普及に関するご意見→計画策定後、職能団体への計画の普及に取り組む)
11	医療・介護分野は人材不足であり、インフォーマルな力が必要。民間事業者の力が重要になるため、民間事業者の関わりを増やしてほしい。	計画(案)に、官民連携による認知症にやさしい地域づくりの推進の一環として、官民の対話を通じた民間事業者の役割拡大を目指す取組みを追加 【計画(案) P14】
12	介護保険サービスで見守りカメラをレンタルできる。利用者のADLに応じて使えるものが提案できるため、相談いただきたい。	計画(案)に、適切な介護保険サービスの活用などによる見守り体制の充実を追加 【計画(案) P15】
13	仕事と介護の両立を支援する「ワークサポートケアマネジャー」を日本介護支援専門員協会が認定している。企業に出向いて相談に応じており、活用にあたっては、協会に問い合わせさせていただきたい。	計画(案)に、企業に対する、ケアマネジャーを活用した仕事と介護の両立支援や介護離職防止の取組みの普及を追加 【計画(案) P22】
14	低床バスの導入や施設の改修など路線バスのバリアフリー化は県の支援を受けて引き続き取り組んでいきたい。	計画(案)に、公共交通のバリアフリー化の推進を追加 【計画(案) P15】
15	認知症対応力向上研修の対象に「登録販売者※」も含めていただきたい。ドラッグストアなどで店頭に立っており、認知症に関する知識の向上を図っていただきたい。 ※ 「医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律」に基づく、一般用医薬品(第2類医薬品及び第3類医薬品)を販売できる資格	認知症対応力向上研修は厚生労働省において医療職向けの研修とされているため、ご意見の趣旨を踏まえ、登録販売者の認知症に関する知識の向上を目指して、関係者と連携して認知症サポーター養成講座等の受講を促進することとし、計画(案)に、その旨を追加 【計画(案) P14】

	委員からの意見等	意見に対する考え方
16	郵便局では、見守りサービスや体操教室による介護予防などに取り組んでおり、認知症バリアフリーに向け行政と連携して取り組みたい。	計画（案）に、官民連携による認知症にやさしい地域づくりの推進の一環として、官民の対話を通じた民間事業者の役割拡大を目指す取り組みを追加 【計画（案）P14】
17	児童にも「新しい認知症観」について知ってもらえるような「児童向け」の啓発資料（リーフレット等）の作成について検討いただきたい。	ご意見の趣旨を踏まえ、児童も含め、幅広く子どもや若年層向けの取り組みを推進することとし、計画（案）に、啓発資料の作成など子どもや若年層向けの普及啓発の取り組みを追加 【計画（案）P13】

（2）パブリックコメントにおける意見等への対応

	パブリックコメントにおける意見等	意見に対する考え方
1	<p>タバコ対策が認知症予防の要のひとつとして重要です。</p> <p>「(8)認知症の予防」等には、「認知症の危険因子、防御因子」が列記され、「認知症の発症予防につながるとされる地域の実状に応じた取り組みを推進します。」と明記されています。</p> <p>この「認知症の危険因子、防御因子」については列記ではなく、例えばタバコ対策について、エビデンスを明示し、他の健康増進・推進計画との連携の重要性に触れていただくのが良いように思います。</p>	<p>計画（案）において、ご指摘のタバコ対策も含めた生活習慣病の予防を推進することとしています。その推進にあたっては「富山県健康増進計画」に基づいて禁煙や受動喫煙防止対策のため、県民への普及啓発などの取り組みを進めています。</p> <p>【計画（案）P23】</p>